

基本目標1

地場産業の振興と若者や女性に魅力ある雇用の創出

1. 目標値の達成状況

●従業員数、事業所数が増加し産業振興、雇用創出の推進が図られた。

・就業人口は国勢調査(H27)では減少しているものの、アウトレットモール効果により経済センサス(H26→H28)の従業員数は大きく増加している。

・事業所数は目標値を達成していないが増加している。

指標	現状値(H26)	目標値(R1)	実績値(H30)	達成度(H30)
就業人口	16,301人 (H22国調)	16,500人	15,812人 (H27国調) 1,190人増 (H26→28) <sup>※1</sup>	95.8%
事業所数	1,536件	1,750件	1,626件	92.9%

※経済センサスの従業員数

2. 市民満足度調査・高校生調査

市民満足度	<ul style="list-style-type: none"> <li>市民ニーズの高い政策は、<u>中心市街地活性化、雇用の安定、商工業の振興</u>である。</li> <li>中心市街地の活性化、商工業の振興に関しては満足度が低い。</li> <li>人口増加に向けた取組として、<u>企業誘致の推進</u>（働く場の確保）に対するニーズが高い。</li> </ul>
高校生の意識	<ul style="list-style-type: none"> <li>高校生活で小矢部市内の企業を知る機会があった人は34%、インターンシップに参加したことがある人は12%に留まる。</li> <li>高校卒業後の進学・就学地の意向は、金沢市、富山市、高岡市が多く、小矢部市は4%と少ない。</li> </ul>

4. おやベルネサンス市民会議の主な意見

意見	<ul style="list-style-type: none"> <li>繊維業の出荷額割合が高い。「おやべ繊維」のブランド化の取組は継続してほしい。</li> <li>まちなか活性化のために、特産品等の食を活かして人を呼び込むことが必要。</li> <li>小矢部産木材を建物だけではなく、エクステリアやガーデニング、遊具等幅広く活用してほしい。</li> </ul>
----	---

3. KPIの達成状況、事業の評価、今後の課題・方向性

主要施策	施策内容	重要業績評価指標KPI				主な事業の評価	今後の課題・方向性	
		指標名	現状値H26	目標値R1	実績値H30			達成度H30
(1) 地域産業の競争力強化	①事業拡大への支援	助成件数(件/年)	2	3	7	233.3%	<ul style="list-style-type: none"> <li>販路拡大事業は助成件数が堅調</li> <li>「おやべ繊維」のブランド化は、商品開発が進んでいる。</li> </ul>	<ul style="list-style-type: none"> <li>地場産業の育成に継続的に取り組むとともに、特に繊維のブランド化、競争力強化に注力する。</li> </ul>
	②企業経営基盤の強化	小矢部市中小商工業振興融資実績(千円/年)	21,000	26,000	13,000	50.0%	<ul style="list-style-type: none"> <li>中小企業に対する金融対策、商工会による経営指導、専門家派遣は、確実に実施されている。</li> </ul>	<ul style="list-style-type: none"> <li>中小企業振興に関しては、継続的に実施する。事業承継についても取組が求められる。</li> </ul>
		小矢部市商工会会員数(件)	954	980	890	90.8%		
	③商業及び中心市街地の活性化	商店数(店)	315(H24)	500	491	98.2%	<ul style="list-style-type: none"> <li>まちなかの空き店舗助成は、順調に伸びている。</li> </ul>	<ul style="list-style-type: none"> <li>中心市街地の魅力向上に継続的に取り組む。</li> </ul>
プレミアム商品券販売率(%/年)		100	100	未実施	—			
(2) 若者や女性に魅力のある産業等の創出	①起業や新産業創出に対する支援	創業支援相談件数(延べ)(件/年)	—	70	73	104.3%	<ul style="list-style-type: none"> <li>行政、商工会、金融機関等の連携により創業支援を推進している。</li> <li>市内の事業所が人材を確保するための支援を進めている。</li> </ul>	<ul style="list-style-type: none"> <li>創業支援を継続的に推進する。</li> <li>アウトレットモール従業員の市内定住化や市民の雇用推進を継続的に進める。</li> </ul>
	②アウトレットモール開業に伴う雇用の創出	新卒就業者数(累計)(人)	—	120	123	102.5%		
		アウトレットモール及び周辺開発事業所の小矢部市民就業率(%)	—	25	未調査	—		
	③企業誘致の推進	小矢部フロンティアパーク分譲率(面積等)(%)	77	100	97	97.0%	<ul style="list-style-type: none"> <li>企業立地の推進は、多角的に進めており誘致に結びついている。</li> <li>商業施設の立地は進んでいない。</li> </ul>	<ul style="list-style-type: none"> <li>企業誘致による人口増加、雇用促進に関する市民ニーズは高く継続的に取り組む。</li> </ul>
		企業立地助成件数(累計)(件)	2	5	4	80.0%		
	④本社機能の移転に対する支援	本社機能移転企業数(累計)	—	1	1	100.0%	<ul style="list-style-type: none"> <li>ゴールドウィンに関しては本社機能の移転が実現している。</li> </ul>	<ul style="list-style-type: none"> <li>市内創業機能に限定されるため企業を特定し対応を進める。</li> </ul>
	⑤産学金の連携による新産業の創出	相談支援連携数(件/年)	—	5	未実施	—	<ul style="list-style-type: none"> <li>学術研究機関との連携による商品開発等は進んでいない。</li> </ul>	<ul style="list-style-type: none"> <li>大学、高校との連携を進め小矢部市で働くイメージを高める。</li> </ul>
⑥女性向けの創業等支援	女性創業支援相談件数(延べ)(件/年)	—	35	99	282.9%	<ul style="list-style-type: none"> <li>相談対応は件数が増加している。</li> </ul>	<ul style="list-style-type: none"> <li>女性の創業支援を継続的に進める。</li> </ul>	
(3) 稼げる農業経営の確立	①農林水産業・農村の振興	中山間活力創生に係る補助金交付地区数(地区)	—	4	2	50.0%	<ul style="list-style-type: none"> <li>中山間地域に助成、有害鳥獣捕獲の対策を推進した。</li> <li>農業の担い手確保を実施した。</li> </ul>	<ul style="list-style-type: none"> <li>鳥獣対策、農業後継者確保を堅実に進める。</li> </ul>
		有害鳥獣(イノシシ)捕獲頭数(頭/年)	91	400	497	124.3%		
	②6次産業化への支援	新商品開発数(累計)(件)	—	8	19	237.5%	<ul style="list-style-type: none"> <li>新商品の開発は堅調に増加した。</li> </ul>	<ul style="list-style-type: none"> <li>6次産業化への支援は継続的に実施する。</li> </ul>
		③ブランド化の推進	小矢部ブランド認定数	12	20	17		
稲葉メルヘン牛出荷頭数	69		80	79	98.8%			
(4) 雇用環境の整備	①女性、若者、障がい者が働きやすい環境づくりへの支援	女性活用セミナー参加企業数(累計)(件)	—	50	34	68.0%	<ul style="list-style-type: none"> <li>イクボス研修会を実施し、企業が参加した。</li> </ul>	<ul style="list-style-type: none"> <li>雇用環境の向上を推進する。</li> <li>特に移住、定住につながる雇用施策を展開する。</li> </ul>
		②多様な労働形態の導入支援	認定事業者数(件)	—	2	27		
	③サテライト・オフィスの誘致	サテライト・オフィス誘致数(件)	—	1	0	—	<ul style="list-style-type: none"> <li>サテライト・オフィスの誘致は進んでいない。</li> </ul>	<ul style="list-style-type: none"> <li>サテライト・オフィスに限定せず、魅力的な雇用創出を推進する。</li> </ul>
	④求職者への支援	障がい者や生活困窮者の就労促進事業による就労者数(人)	—	20	15	75.0%	<ul style="list-style-type: none"> <li>障がい者、生活困窮者の就労は一定程度増加している。</li> </ul>	<ul style="list-style-type: none"> <li>障がい者、生活困窮者の就労を継続的に進める。</li> </ul>

KPI数 22 目標達成KPI 8 目標の80%を達成したKPI 6

## 基本目標2 交流・定住を促進する地域力の創造

### 1. 目標値の達成状況

#### ●交流人口の伸びは緩やかであり、アウトレットモール開業があったものの人口の社会動態は減少傾向が続く

・観光入込客数は目標値を達成していないが増加傾向にある。H27のアウトレットモールの来場者数は440万人（発表値）であり小矢部市を訪れる人は大きく増加している。

・人口の社会動態は減少傾向が続いており、回復していない。

指標	現状値 (H26)	目標値 (R1)	実績値 (H30)	達成度 (H30)
観光入込客数	1,121千人	1,800千人	1,174千人	65.2%
社会動態数	▲52人 (H25)	50人	▲69人	▲15.5%

### 2. 市民満足度調査・高校生調査

市民満足度	<ul style="list-style-type: none"> <li>市民ニーズの高い政策は、<u>移住定住の促進</u>、<u>交通体系の充実</u>である。</li> <li>交通体系の充実に関しては満足度が低い。</li> <li>小矢部市民の定住意向は高く、転居を考えている人は全体の9%である。</li> <li>30代以下ではSNSで小矢部市出身者等とつながっている人が多い(65%)。</li> </ul>
高校生の意識	<ul style="list-style-type: none"> <li>小矢部市在住の高校生の居住意向は、「小矢部市でずっと暮らしたい」と「いずれ暮らしたい」を合わせて34%、「わからない」が54%。</li> <li>小矢部市外に居住する高校生は「小矢部市で暮らしたい」と考えている人がほぼみられない。</li> <li>小矢部市外に居住する高校生は、市内の祭りやイベントへの参加率が34%であり、高校生活において地域との結びつきが弱い状況である。</li> </ul>

### 4. おやベルネサンス市民会議の主な意見

意見	<ul style="list-style-type: none"> <li>市外からの従業者数が増えているのに市内就業人口は減っている。住宅等の供給が少ないから転入に結びつかないのではないかな。</li> <li>市内には、多くの魅力的な企業がある。その働き方等をPRしていくことが重要。</li> <li>市と高校と大学が連携し、地元への就職の支援をすることが必要。</li> <li>市内外の高校生を対象に市内企業を紹介するイベントを実施してはどうか。</li> <li>石動高校には商業科がある。商品開発の機会があれば連携したい。</li> <li>小矢部市をアピールする人材を育成し、連携していくことが重要。</li> <li>都会で疲弊した人たちを暖かく受け入れ、定着してもらえぬまちを目指してほしい。</li> </ul>
----	--

### 3. KPIの達成状況、事業の評価、今後の課題・方向性

主要施策	施策内容	重要業績評価指標KPI				主な事業の評価	今後の課題・方向性		
		指標名	現状値 H26	目標値 R1	実績値 H30			達成度 H30	
(1) 観光の振興	①アウトレットモールを拠点とした観光ルートの確立	稲葉山観光入込客数 (人/年)	69,490	112,000	78,065 (H29)	65.5%	<ul style="list-style-type: none"> <li>サイクリングターミナル、クロスランドおやべ「ふれあいハウス」、稲葉山山頂休憩所のリノベーションを実施し、特に稲葉山の集客力が向上している。</li> <li>イメージソングの制作、「メルヘン」と「歴史」をキーワードに観光ルートをPRしている。</li> <li>中心市街地における空き店舗を利用した観光案内は効果が発現した。</li> <li>アウトレットモールに観光案内所を設置し市内への誘導を実施している。</li> <li>海外プロモーションは情報発信に留まった。</li> </ul>	<ul style="list-style-type: none"> <li>観光資源のブラッシュアップを継続的に進め、今後も来場者の増加へつなげる。</li> <li>観光誘客、PRの充実を継続的に進める。</li> <li>中心市街地への観光客の回遊を継続的に進める。</li> <li>アウトレットモールを核に、広域連携による誘客を進める。</li> </ul>	
		中心市街地通行者数 (人/日)	265	350	297 (H29)	84.9%			
	②女性の視点に立ったシティセールス	小矢部市の認知度(首都圏女性)(%)	28.4	60.0	未調査	—			
	③市内への誘客を促す魅力の創出	商店街観光客案内所利用者数 (人/年)	7,146	8,000	7,606	95.1%			
(2) 都市間交流の推進	①滞在型生活体験の推進	グリーンツーリズム体験者数 (人/年)	—	50	67	134.0%	<ul style="list-style-type: none"> <li>グリーンツーリズムの参加者数は安定して推移。</li> <li>おやべ暮らしの体験は参加者が少ない状況。</li> <li>おやべプチ市民生活体験事業は、民間体験施設を紹介する程度に留まる。</li> </ul>	<ul style="list-style-type: none"> <li>観光ルートの形成と合わせグリーンツーリズム等を推進する。</li> <li>暮らし体験を中心に移住につながる取組を強化する。</li> </ul>	
		②二地域居住の推進	二地域居住者数 (累計) (人)	—	30	未調査			—
	(3) 移住・定住への支援	①移住・定住を促進する体制の強化	相談窓口利用者数 (延べ) (件/年)	21	100	29			29.0%
②教育機関と連携した若者定着化の推進		連携課題件数 (累計) (件)	—	10	4	40.0%			
③定住促進助成制度の継続		社会動態数 (人/年)	▲52	50	▲69	▲15.5%			
④空き家バンクの登録推進		空き家バンク物件成約数 (累計) (件)	2	30	26	86.7%			
⑤地域と連携した受入体制の整備		定住支援件数 (件/年)	27	30	19	63.3%			
⑥「生涯学習のまち」の形成支援		「生涯活躍のまち」形成数 (累計)	—	1	0	0.0%			
(4) おやべ型ライフスタイルの促進	①市内企業通勤者の「おやべ市民化」を推進	市外から通勤する従業員の新規市内居住者数 (累計) (人)	—	60	未調査	—	<ul style="list-style-type: none"> <li>市内企業就労者に特化した助成制度は未実施。</li> <li>北陸大学の教授に講師を依頼し生涯学習講座を実施している。</li> <li>遠距離通学者への支援は未実施。</li> </ul>	<ul style="list-style-type: none"> <li>アウトレットモール従業員の市内定住化を進める。</li> <li>交通網等の立地の良さをPRすることで移住を促進する。</li> </ul>	
		②「(仮称) おやべ大学」の開設	(仮称) おやべ大学受講者数 (累計) (人)	—	200	36			18%
		③遠距離通学者への支援	通学支援数 (件/年)	—	30	未実施			—

KPI数 17 目標達成KPI 1 目標の80%を達成したKPI 2

**基本目標3 若者の出会いの場を創出し、安心して結婚・出産・子育て・教育ができるまちの創造**

1. 目標値の達成状況

●婚活支援、妊娠から子育てまでの総合的な支援は活用されており、出生数の維持につながっているが、未婚率は高まる傾向にあり人口減少の抑制に至っていない。

- ・出生数は目標値を達成しておらず横ばい。
- ・男性未婚率は高まる傾向にあるが、25～29歳の未婚率は横ばいである。

指標	現状値(H26)	目標値(R1)	実績値(H30)	達成度(H30)
出生数	171人	220人	187人	85.0%
男性未婚率(25～29歳)	74.6%(H22)	引き下げる	75.0%(H27)	未達成
男性未婚率(30～34歳)	49.8%(H22)	引き下げる	53.4%(H27)	未達成

2. 市民満足度調査・高校生調査

市民満足度	・市民ニーズの高い政策は、学校教育の充実、妊娠・出産・子育て支援の充実であるが、いずれも満足度に関しては低くはない。
高校生の意識	・小矢部市在住の高校生が、小矢部市で暮らしたい理由は、「家族がいるから」58%、「治安がよいから」42%、「まちに愛着があるから」39%、「親しい友人がいるから」39%であり、定住意向は一定程度みられる。

4. おやベルネサンス市民会議の主な意見

意見	<ul style="list-style-type: none"> <li>・縁結びさんを通して成婚された方のほとんどが市外へ転出している。定住支援の強化が必要。</li> <li>・子育てのコミュニティがあり、そこで子育てをしたいから移住してくるという自治体の例もある。お金で無い条件もあるかと思う。</li> <li>・子育ては、家庭・地域で行っていくものだが、人と人の繋がり、社会とのつながりが下手になっている。</li> <li>・民間企業での働き方改革には限界もある。延長保育や介護体制等、女性がフルタイムで働きやすい環境が必要。</li> <li>・人口定着のためには、ふるさと愛を持てる教育が必要。</li> <li>・イクボス研修は、研修後の企業の取組が重要であり、追跡調査も必要ではないか。</li> </ul>
----	--

3. KPIの達成状況、事業の評価、今後の課題・方向性

主要施策	施策内容	重要業績評価指標 KPI				主な事業の評価	今後の課題・方向性	
		指標名	現状値 H26	目標値 R1	実績値 H30			達成度 H30
(1) 結婚支援	①婚活支援	「縁結びさん」による成婚数(累計)(件)	4	20	14	70.0%	・「縁結びさん」による成婚数、出会いイベントの参加者は着実に増加している。	・「縁結びさん」、婚活イベントを中心に結婚支援を継続実施する。
		出会いイベント参加者数(人/年)	86	200	130	65.0%		
	②結婚に向けた情報提供の推進及び結婚新生活への支援	結婚に向けた講座参加者数(人/年)	3(H25)	40	58	145.0%	・結婚に向けた講座参加者は堅調に増加している。 ・新婚生活支援の利用は低調となっている。	・住宅助成等の活用を含めた情報発信を強化する。
(2) 妊娠・出産・子育てまでの一貫した支援	①不妊・不育症治療への支援	不妊治療費助成件数(件/年)	56	60	62	103.3%	・不妊治療費助成は堅調に推移している。 ・不育症治療助成も活用されている。	・不妊治療、不育症治療の支援を継続実施する。
		不育症治療費助成件数(件/年)	2	4	1	25.0%		
	②出産に対する支援	ママ・パパ講座受講者数(人/年)	113	120	92	76.7%	・ママ・パパ講座の受講者は減少している。 ・産婦人科の開設は進んでいない	・母子保健、出産に対する支援を総合的に推進する。
		③子育てを支える体制の充実	放課後児童クラブ利用児童数(人/年)	192(H25)	270	295		
	④子育てに関する経済的支援の充実	ひとり親家庭のうち生活保護世帯数(件)	—	0	1	0.0%	・こどもの医療費、妊産婦の医療費助成は、利用が多い。	・こどもの医療費、妊産婦の医療費補助を継続する。
⑤多子世帯に対する支援の充実	第3子以降対象者数(人/年)	22	30	18	60.0%	・第3子の保育料無料化は活用されている。	・第3子の保育料無料化を継続する。	
(3) おやべっ子を育む教育環境の充実	①きめ細やかな学校教育の推進	不登校児童生徒適応指導教室利用率(%)	26.3	50	24.3	48.6%	・英語指導助手派遣、多人数学級支援、図書館司書設置、心身障害児支援、スクールカウンセラー等を着実に実施した。	・学校教育の充実に関しては市民ニーズが高いが満足度も確保されており、総合的な取組を着実に推進する。
		学校図書館貸出数(一人当たり)(冊/年)	40.6	59.3	63.7	107.4%		
	②心のふれあいを深める社会教育の推進	地域おやべっ子教室推進事業参加児童数(延べ)(人/年)	6,119	7,500	8,219	109.6%	・地区公民館等における教室開催、宿泊学習、読書活動の推進等を着実に実施した。	・身近な社会を理解し、地元が好きになる教育、ふるさとへの愛着の形成が求められる。
③ICTを活用した効果的な学習の推進	PC配置数/児童生徒数(%)	16.4	18.5	17.7	95.7%	・教育用パソコンの更新、サーバの統合を実施した。	・Society5.0時代に向けた「ICT教育」の推進が求められる。	
(4) 若者・女性の経済的活動の推進	①ワーク・ライフ・バランスの普及促進	セミナー参加企業数(累計)(件)	—	50	34	68.0%	・ワーク・ライフ・バランスのセミナー参加企業は増加している。	・ワーク・ライフ・バランスを継続的に推進を図る。
		②男女共同参画の推進	審議会等における女性委員の割合(%)	26.9	40	25.6		
	③おやべ型三世帯同居モデルの推進	孫とおでかけ支援事業市内対象施設利用者数(人/年)	—	6,240	4,916	78.8%	・孫とおでかけ支援事業は、活用されており世代間交流が進んでいる。 ・三世帯同居率は低下している。	・三世帯同居に限定せず、家族や地域で子育て支援ができる社会を目指す。
三世帯同居率(%)		28.1(H22)	引き上げる	23.6	84.0%			

KPI数 18 目標達成KPI 5 目標の80%を達成したKPI 3

**基本目標4 住み続けたくなる安心・快適なまちの創造**

1. 目標値の達成状況

●余命に対する自立期間の割合はやや向上、住み続けたい市民の割合は低下傾向がみられる。

・平均余命に占める平均自立期間の割合は微増しており目標を達成している。

・「住み続けたい」と考える人の割合は、「ずっと住み続けたい」27%、「できるなら住み続けたい」40%であり、合わせて67%となる。減少傾向が見られるが、これはアンケートの回答に占める年齢層の違いが原因と考えられる。

指標	現状値 (H26)	目標値 (R1)	実績値 (H30)	達成度 (H30)
65歳到達者の平均余命に占める平均自立期間	男性 90.77% 女性 85.87%	引き上げる	男性 90.80% 女性 86.10%	達成
「住み続けたい」と考える人の割合	81.8% (H25)	引き上げる	67% (R1満足度調査)	未達成

2. 市民満足度調査・高校生調査

市民満足度	<ul style="list-style-type: none"> <li>市民ニーズの高い政策は、雪に強いまちづくりの推進、防災・危機管理体制の充実、高齢者福祉の充実、持続可能な自治体経営の確立である。</li> <li>雪に強いまちづくりに関しては、満足度が低い。</li> <li>小矢部市の暮らしやすい理由は、「災害が少ない」73%、「自然環境に恵まれている」60%、「治安がよい」59%が上位を占める。</li> </ul>
高校生の意識	<ul style="list-style-type: none"> <li>高校生が感じる小矢部市の魅力は、「自然豊かなまちである」60%、「災害や犯罪が少ないまちである」38%の割合が高く、次いで「家や土地が広く住環境がよい」17%、「道路や歩道が十分に整備されている」16%の回答が多い。</li> </ul>

4. おやベルネサンス市民会議の主な意見

意見	<ul style="list-style-type: none"> <li>ネットワーク環境として、5GやAI等、先進的な動きを取り込んでほしい。</li> <li>芸術や文化は生活に密着するものではないが、必要なことだと思う。若い人の「楽しい」ということを取り入れてほしい。</li> <li>「ホッケーのまち」として、市内の企業が何らかのサポートを行うことも必要ではないか。</li> </ul>
----	---

3. KPIの達成状況、事業の評価、今後の課題・方向性

主要施策	施策内容	重要業績評価指標 KPI				主な事業の評価	今後の課題・方向性		
		指標名	現状値 H26	目標値 R1	実績値 H30			達成度 H30	
(1) 安全・安心なまちづくり	①防災体制の整備	備蓄率 (%)	84.7	100.0	100.0	100.0%	・計画に基づき整備を実施した。	・防災体制の強化を推進する。	
	②自主防災組織・消防団の充実	防災士の養成数 (人)	53	73	76	104.1%	・防災士の養成を実施した。 ・私設消防隊の設備等の更新を実施した。	・防災組織活動を支援し、地域防災力の充実を図る。	
	③防犯・交通安全の推進	防犯カメラ設置台数 (台)	15	31	0	0.0%	・防犯カメラの設置助成、防犯灯のLED化を実施した。	・防犯、交通安全を推進する。	
(2) 生涯現役のまちづくり	①健康づくりの推進	特定健康診査受診率 (国保加入者) (%)	53 (H25)	65	51.2 (H29)	78.8%	・特定健康診査の受診率は横ばい ・食生活改善推進事業を実施した。	・健康づくりの推進を継続する。	
	②介護予防の推進	介護予防拠点整備事業		2	5	2	40.0%	・介護予防拠点の検討をした。 ・NPO、民間事業者の生活支援サービスが増加した。	・多様な主体が連携し、介護予防の強化を推進する。
		住民主体の支援団体数 (団体/年)		18 (H25)	30	25	83.3%		
	③高齢者の生きがいづくり	公衆浴場利用券利用率 (%)		42.9	50	45.3	90.6%	・公衆浴場、老人福祉センターの利用が進み、高齢者の外出機会が増加した	・地域活動への参加、就労機会の強化を進め、生きがいづくりを推進する。
老人福祉センター利用券利用率 (%)			24.4	28	29.0	103.6%			
④地域包括ケアシステムの構築	在宅医療・介護連携支援拠点設置数 (箇所)		-	1	1	100.0%	・小矢部市医師会が事業を実施した。	・地域包括ケアシステムの推進を図る。	
(3) 利便性の高いまちづくり	①交通の利便性向上	メルバス+乗合タクシー利用人数 (年平均) (人/日)	125	127	154	121.3%	・高齢者の運賃無料化、ダイヤ改正により利用者が増加した。	・交通の利便性強化に継続的に取り組む。	
	②買物弱者支援	移動販売・御用聞き利用者 (延べ) (人/年)	-	1,000	11,260	1126%	・移動販売、宅配事業の利用者が増加している。	・買い物弱者対策を継続する。	
(4) 住民主体のまちづくり	①地域コミュニティ活動への支援	コミュニティ助成件数 (件/年)	3	3	2	66.7%	・コミュニティ活動への助成をした。	・コミュニティ活動の推進を継続する。	
	②協働のまちづくり事業の推進	1%事業参加者数 (延べ) (人/年)	36,558	39,000	35,403	90.8%	・1%事業が定着し協働のまちづくりが推進した。	・1%事業を推進し、協働のまちづくりを推進する。	
(5) 住み続けたいまちづくり	①地域の伝統・文化の振興	アートハウスおやべ利用者数 (延べ) (人/年)	-	40,000	29,053	72.6%	・アートハウスの利用者数は一定程度あり、文化活動の推進が図られている。	・アートハウスを拠点に文化振興を推進する。	
	②小矢部三大祭等への支援	三大祭保存団体数 (団体)	116	維持	116	維持	・祭り・イベント実施団体に助成した。	・祭り・行事の継承を支援する。	
	③生涯スポーツの推進	スポーツ施設利用人数 (人/年)	193,564	240,000	219,828	91.6%	・ホッケーを中心にスポーツの振興を図った。	・生涯スポーツを推進する。	
		オリンピックの数 (累計) (人)	4	6	5	83.3%			
④環境保全と循環型まちづくりの推進	太陽光発電設置数 (件/年)	34	39	20	51.3%	・太陽光の設置は減少、リサイクル率はやや低下した。	・循環型まちづくりを推進する。		
	リサイクル率 (%)	18.6	引上げ	16.3	87.6%				
(6) 地域の支え合い体制の整備	①中山間地域等における「小さな拠点」の形成	「小さな拠点」箇所数 (箇所)	-	3	1	33.3%	・「小さな拠点」が1箇所形成されている。	・今後も地域の支え合いを推進する。	
	②地域ケアネットの推進	ケアネット活動延べ日数 (日/年)	10,671	12,200	18,877	154.7%	・ケアネット活動を着実に推進している。	・生活支援制度の充実を図る。	
(7) 地域連携の推進	①連携中枢都市圏構想の推進	連携中枢都市圏構成市間の新規連携事業数 (累計)	-	2	32	1600%	・連携中枢都市圏による事業が実施されている。	・広域行政を継続して推進する。	
	②県西部6市環境活性化モデル地域構想の推進	ペレットストーブ設置数 (件/年)	-	10	2	20.0%	・木質バイオマス利用を促進した。	・木質バイオマス資源の活用を促し、地球温暖化の防止を推進する。	
(8) 適正な行財政運営の推進	①行財政改革の推進	プライマリーバランス	▲4.44	黒字化	▲20.50	▲361.7%	・プライマリーバランスは悪化した。	・持続可能な自治体経営への市民ニーズは高く、行財政改革を推進する。	
	②公共施設の適切な運営・管理	人口1人あたり公共施設延床面積	5.09 (H25)	引き下げる	5.50	91.9%	・公共施設等総合管理計画を策定した。	・公共施設等の適切な配置と効率的な維持管理を推進する。	

KPI数 25 目標達成 KPI 9 目標の80%を達成した KPI 7